

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習Ⅲ Practical Training in Nursery School Ⅲ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	2	選択	梅田 美穂	
概要				
保育実習での学びをさらに深め、保育士としての実践力を高めるために、児童福祉施設等で10日間の実習を行う。				
到達目標				
(1) 対象にあわせた援助を行うことができる。 (2) 実習日誌を書くことができる。 (3) 保育士の職業倫理を説明することができる。				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 養護全般に参加し、養護技術を学ぶ。 2 子どもの発達の個人差に応じた援助や生活環境にともなう子どものニーズに即した援助の実際を学ぶ。 3 援助計画を立案し、実践する。 4 子どもの家族とのコミュニケーションの方法を学ぶ。 5 地域における他の施設の役割を理解し、連携の方法について学ぶ。 6 子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。 7 保育士の職業倫理を理解する。 8 児童福祉施設等の保育士に求められる資質や知識、技能に照らし合わせて自己の課題を明確にする。 <p>※実習時期 2年次8月に社会福祉施設での実習を10日間(通勤の場合は12日間)行う。</p> <p>※実習先 各自が依頼した施設。 居住型施設のほかに、社会福祉施設諸法令に基づき設置される施設も含まれる。</p> <p>※その他 実習先で事前オリエンテーションを受ける必要がある。事前準備として、検便、麻疹・風疹抗体検査が必要である。</p>				
テキストおよび 参考文献	「保育(保育所・施設)実習の手引き」山口短期大学			
メッセージ など	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰ(施設・保育所)を終えた後に施設での実習を希望する学生の必修科目である。 ・保育士証：選択必修科目 			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 対象にあわせた援助を行うことができる。	対象にあわせた必要な援助が分かり、行うことができる。	対象にあわせた必要な援助について、だいたい分かり、行なおうとしている。	対象にあわせた必要な援助についての理解が十分ではないが、行なおうとしている。	行えていない。	実習評価(知識・理解・思考・判断・関心・技能)	40%
(2) 実習日誌を書くことができる。	誤字・脱字がなく、自分の考えを書けている。	誤字・脱字が時々あるが、空欄が少なく、自分の考えを書けている。	誤字・脱字、空欄があるが、毎日書けている。	誤字・脱字が多く、毎日書けていない。	日誌評価(表現・技能)	40%
(3) 保育士の職業倫理を説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できない。	実習事後指導(意欲・態度)	20%